

日本版CCRC構想の 打ち出し

平成26年9月、国において少子高齢化と人口減少社会の進展に歯止めをかけるため、「まち・ひと・しごと創生本部」が立ち上げられ、「地方創生」が始まります。この取り組みの一例として示されたのが、「日本版CCRC構想」でした。

都留市が取り組む「シルバー産業」と考え方が同一であったため、「都留市版CCRC構想」と名称を変更し、取り組みを継続することとしました。

*CCRCとは…

「Continuing Care Retirement Community(コンティニューイング・ケア・リタイアメント・コミュニティ)」の略で、日本語では「継続的なケア付きの高齢者たちの共同体」と訳されます。つまり、医療・介護などのケアを継続的に受けられる場所に、高齢者が集まって居住するということです。

始まりは、 「シルバー産業の構築・推進」から

市の取り組みのスタートは、「シルバー産業の構築・推進」からでした。「シルバー産業」とは、都市圏に住む高齢者を受け入れ、ターゲットとして医療福祉を中心とした産業創出などにより地域活性化を図るものです。

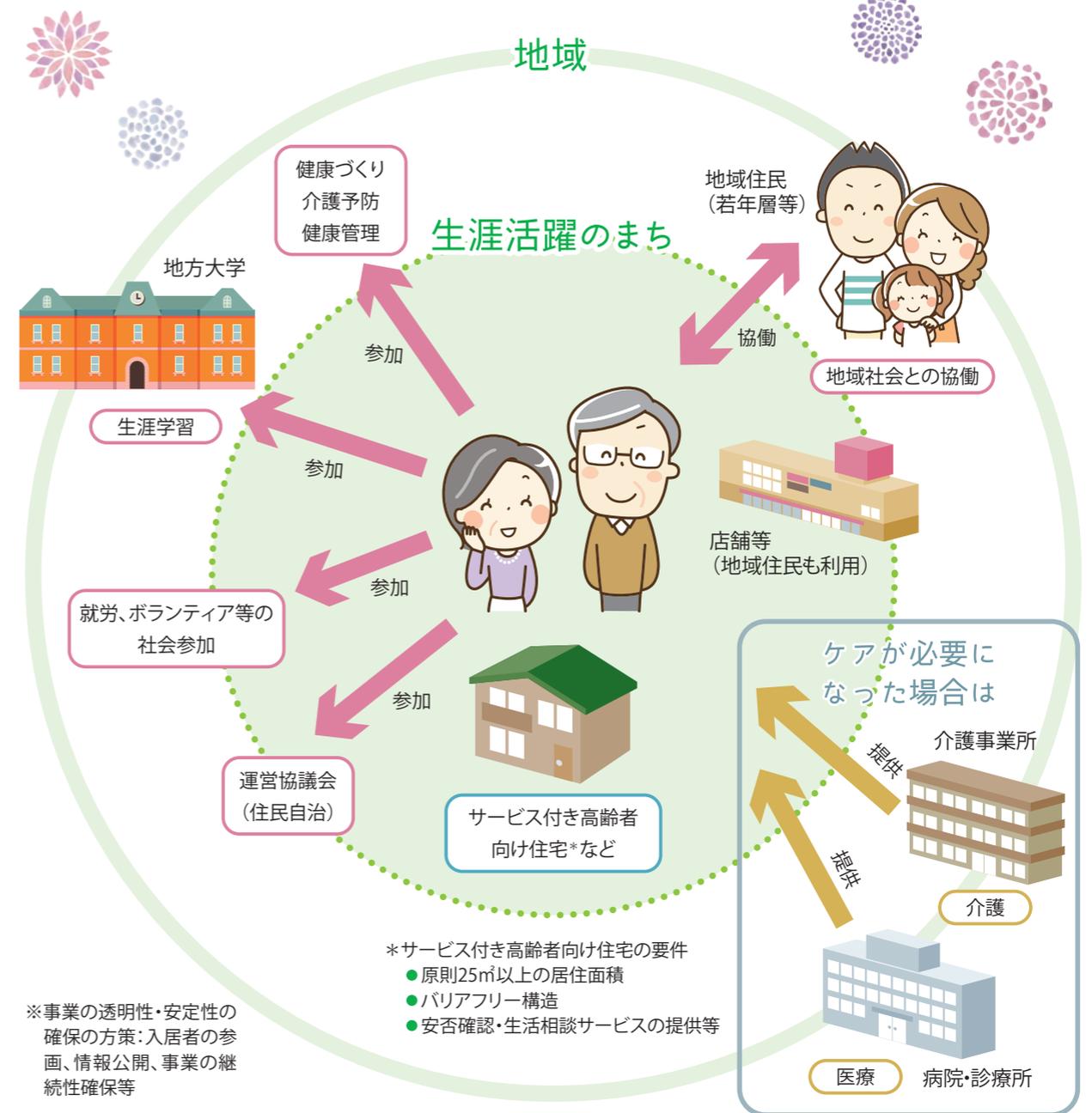
CCRCから生涯活躍のまちへ

「CCRC」という考え方は、全国的に大きな注目を集めました。と同時に、「高齢者移住では、地方創生につながらない」といった批判も高まりました。これを受け、「日本版CCRC」の理念は、「高齢者のみにかかわらず、誰もが生涯にわたって活躍できるようなまちづくりを進めていくことで、都心から地方への人の動き、つまり移住を進めていくことである」という考え方が示され、「生涯活躍のまち」という名称へと変更されました。これを受け、都留市でも「生涯活躍のまち・つる」として名称を打ち出し、現在に至ります。

「生涯活躍のまち・つる」とは…

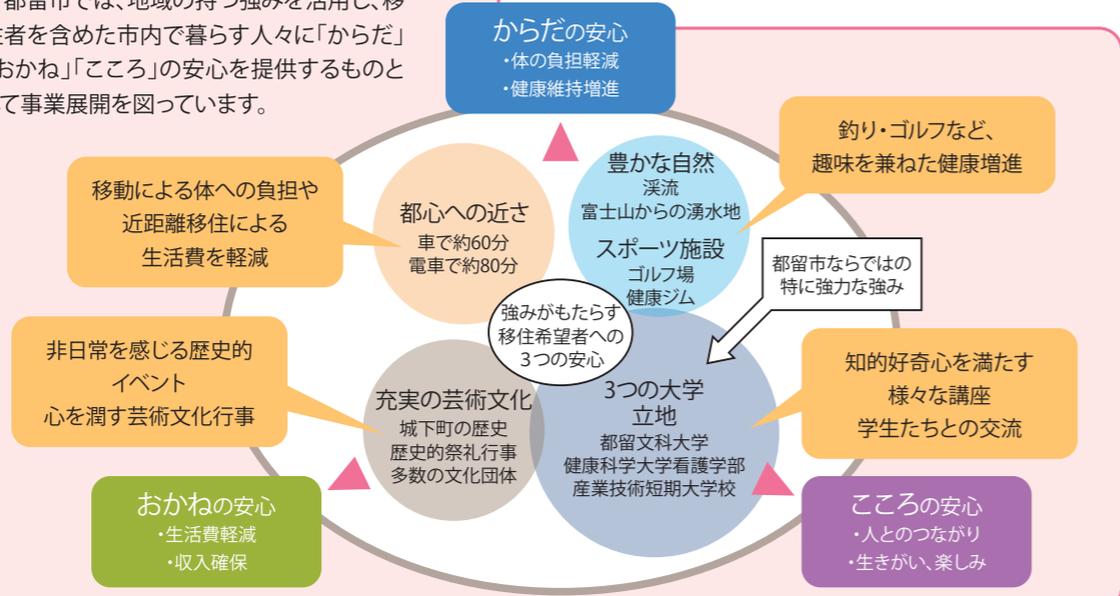
国では、「地方創生」の大きな柱の一つとして「生涯活躍のまち構想」を推し進めています。この「生涯活躍のまち」構想は、「東京圏をはじめとする都市部の高齢者が、希望に応じ地方やまちなかに

移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すものです。



「生涯活躍のまち・つる」を 推進することで得られる「安心」

都留市では、地域の持つ強みを活用し、移住者を含めた市内で暮らす人々に「からだ」「おかね」「こころ」の安心を提供するものとして事業展開を図っています。



複合型居住プロジェクト

このプロジェクトは、都留文科大学近くの市が所有する土地を複数の事業者へ貸し出し、市民が生涯にわたって活躍するための施設・サービスを事業者が主体となって提供する事業です。このエリアを整備したいと考える事業者を中心として、「都留市CCRC構想研究会」が立ち上がっており、魅力的な「つる暮らし」を実現するための方策を検討しています。平成30年度中には事業者公募が実施され、平成31年頃から整備に着手する予定となっています。



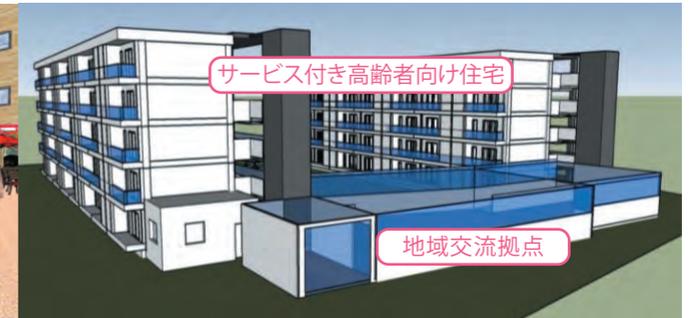
複合型居住プロジェクトイメージ



「生涯活躍のまち・つる」とは…



複合型居住プロジェクトイメージ



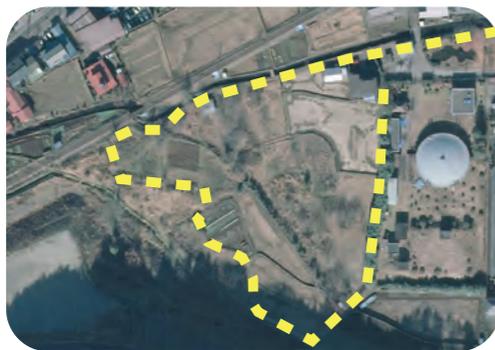
単独型居住プロジェクト改装イメージ

単独型居住プロジェクト

このプロジェクトは、市が所有する中央自動車道都留インターチェンジ近くの旧雇用促進住宅を事業者へ貸し出し、事業者がサービス付き高齢者向け住宅に改修・運営する事業です。平成31年度当初頃のオープンを目指して準備を進めています。



複合型住居



- 住宅** シニア向けの住戸と一般向け住戸を整備する
- 介護付き有料老人ホーム** 地域住民や入居者が必要に応じて利用する
- 大学関連施設** 都留文科大学の関連施設を整備する
- 食堂・レストラン** 地域開放型で食事や交流できる場所
- 在宅介護施設** 介護が必要になった入居者等が利用する
- 元気ジム** 健康維持、介護予防に重点を置いたジム
- チャレンジース・生涯学習スペース** 趣味活動をはじめ多様な用途に利用できるスペース
- 推進センター及び事務室** 「生涯活躍のまち・つる」の推進センター等

単独型住居



改装前

- 構造規模** 鉄筋コンクリート陸屋根5階建て(40戸×2棟)
- 主要間取** 2K(6畳+4.5畳)33.06㎡ 耐震診断・補強実施済
- 家賃等** 都市圏のサービス付き高齢者向け住宅よりも安価で入居可能
- 入居者** 移住者はもちろん、市内高齢者向けの一定の優先入居枠も設定
- 活躍の受け皿** 食堂や多目的スペースのある地域交流拠点を併設
- 整備** 旧雇用促進住宅下谷宿舎2棟(最大80戸)、土地(3,797.99㎡)

超お得な物件探しの方法教えます♪ **その2**



『都留市空き家バンク』のススメ

都留市にある空き家を有効活用し、移住を促進するため、「空き家バンク」制度を推進しています。都留市空き家バンクは、市内に売却や賃貸したい空き家をお持ちの方に空き家バンクに登録していただき、移住や定住するために空き家の購入や賃貸したい方に、ホームページ等を通して情報を提供するものです。

家を借りたい・買いたい方はこちら

都留市空き家バンクに登録されている物件は、下記のワードで検索、またはQRコードでご覧いただけます。物件は日々更新されますので、ご注意ください。

都留市 空き家バンク **検索**



申請手順

- 1 ホームページに掲載された空き家を購入または賃貸したい方は、空き家利用申込書と誓約書に必要事項を記入していただき、都留市企画課へお申し込みください。申込書などはホームページをご覧ください。企画課にてご用意しております。
- 2 空き家利用希望者の申し込みがあった場合、不動産業者が仲介し、交渉や契約になります。

リフォームしたい方はこちら

「都留市空き家リフォーム事業補助金」をご活用ください。空き家バンクに登録された物件が売買または賃貸借契約を締結した場合に、その物件のリフォームにかかる費用の2分の1(上限50万円)を補助します。

補助要件

- 1 都留市空き家バンクに登録された物件で、売買または賃貸借契約を締結した物件
- 2 申請者は空き家の所有者であるか、都留市に5年以上定住する転入者であること
- 3 リフォームは、市内業者が施工すること

補助対象

- ・台所 ・浴室 ・トイレ ・洗面所
- ・内装 ・外装 ・屋根

詳しいお問合せは

☎都留市企画課 ☎0554-43-1111(内線243)



超お得な物件探しの方法教えます♪ **その1**



市営住宅情報をチェックしよう

現在、市には、公営住宅と特定公共賃貸住宅の2種類があります。公営住宅は、住宅に困窮する方を対象としたものですが、特定公共賃貸住宅とは、中堅所得者層のファミリー世帯を対象とした住宅ですので、ハードルが低く利用しやすい物件です。



H29.4.1現在

入居の条件

公営住宅

特定公共賃貸住宅

- ▶住宅に困窮していることが明らかである方
- ▶市内に住所または勤務先がある60歳以上の方、生活保護者、身体障害者手帳(1~4級)の交付を受けている方は単身でも入居可能

- ▶自ら居住するため、住宅を必要とする方

- ▶現在同居しているか、または同居しようとする親族(内縁関係、婚約者含む)がある方
- ▶世帯全員の収入が法律で定める基準の範囲内であること
- ▶日本国籍を有する方、または外国人登録、永住許可などを受けている外国人の方
- ▶原則、自己所有の住宅を持たない借家住まいの方
- ▶地方税の滞納の無い方
- ▶条件を満たす連帯保証人を1人立てられること
- ▶申込者及び同居しようとする親族が暴力団員でない方



	団地名	棟	形式	構造	建設年度	階数	戸数	家賃
公営住宅	蒼竜峡	73~76	3DK	中層耐火	S48~S51	4F	96	10,700~17,600
	田野倉	3・4	3DK	中層耐火	S52~S53	4F	48	14,100~22,000
	権現原	1~3	3DK	中層耐火	S54~S56	4F	72	14,600~25,100
	九鬼	1~4	3DK	中層耐火	S57~S60	4F~5F	84	17,500~26,400
	朝日	1~3	3DK	中層耐火	S62~H1	5F	60	17,900~27,400
	鹿留	1~3	3DK	中層耐火	H2~H4	3F~4F	52	19,600~32,000
	田原	1・2	3DK	中層耐火	H5・H6	4F	32	22,700~37,500
	田原	3	3LDK・2LDK	中層耐火	H9	4F	12	25,600~43,300
	中野	1	3DK	中層耐火	H8	4F	24	25,000~37,200
	古渡	1・2	3LDK	中層耐火	H13・H15	5F	60	27,700~41,600
特定公共賃貸住宅	井倉	1・2	3LDK	高層耐火	H5・H7	7F	84	41,000~54,000
	田原	3	3LDK	中層耐火	H9	4F	8	71,000

提出書類

市営住宅入居申込書、世帯全員の住民票、所得を証明する書類、納税証明書など
※申し込み内容によっては、上記以外の書類を提出していただく場合があります。

お問合せ

建設課 建築住宅担当 ☎0554-43-1111